



JARMeC
Japan Animal Referral Medical Center
日本動物高度医療センター

2023年3月期 第3四半期決算説明資料

株式会社日本動物高度医療センター（東証グロース：6039）

2023年2月9日



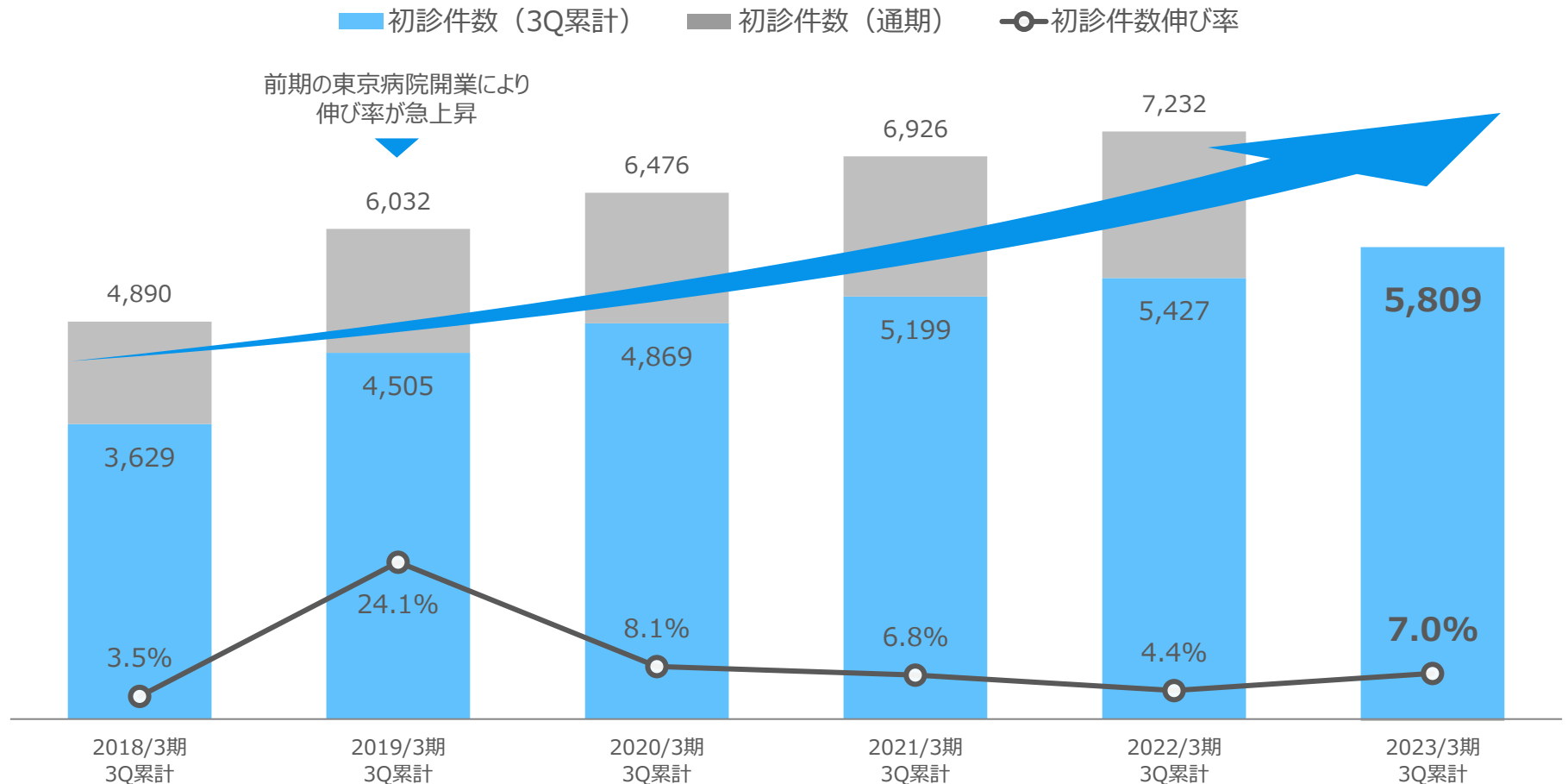
2023年3月期第3四半期 決算概要

- 第3四半期累計期間での過去最高の売上、利益を更新
- 2023年3月期第1四半期より連結対象となったテルコム(株)が業績に寄与、既存サービス（二次診療・画像診断等）においても、前年同期比5.1%増収
- 12月の第三者割当増資に伴う株式交付費（営業外費用）35百万円を計上

(百万円)	2022/3期			2023/3期				
	3Q累計実績	進捗率	通期実績	3Q累計実績	前年同期比		進捗率	通期計画
売上高	2,230	74.9%	2,979	2,915	+684	<u>+30.7%</u>	75.5%	3,860
二次診療サービス	1,808	74.3%	2,434	1,961	+153	<u>+8.5%</u>	—	—
画像診断サービス	393	76.7%	512	353	▲39	▲10.1%	—	—
健康管理機器レンタル・販売サービス	—	—	—	590	+590	—	—	—
営業利益	330	75.3%	439	456	+125	<u>+38.1%</u>	85.4%	535
経常利益	330	75.3%	438	421	+90	+27.4%	78.1%	540
親会社株式に帰属する 四半期純利益	223	78.0%	286	279	+55	+25.0%	76.7%	365
1株当たり 四半期純利益	93.9円	—	120.9円	119.7円	+25.7円	+27.4%	—	149.9円
初診件数	5,427件	75.0%	7,232件	5,809件	+382件	<u>+7.0%</u>	78.0%	7,450件

事業KPI：初診件数（紹介数）は過去最高へ

- 初診件数は第3四半期での過去最高件数を更新し、伸び率が7.0%に上昇
- 動物医療ニーズは引き続き堅調

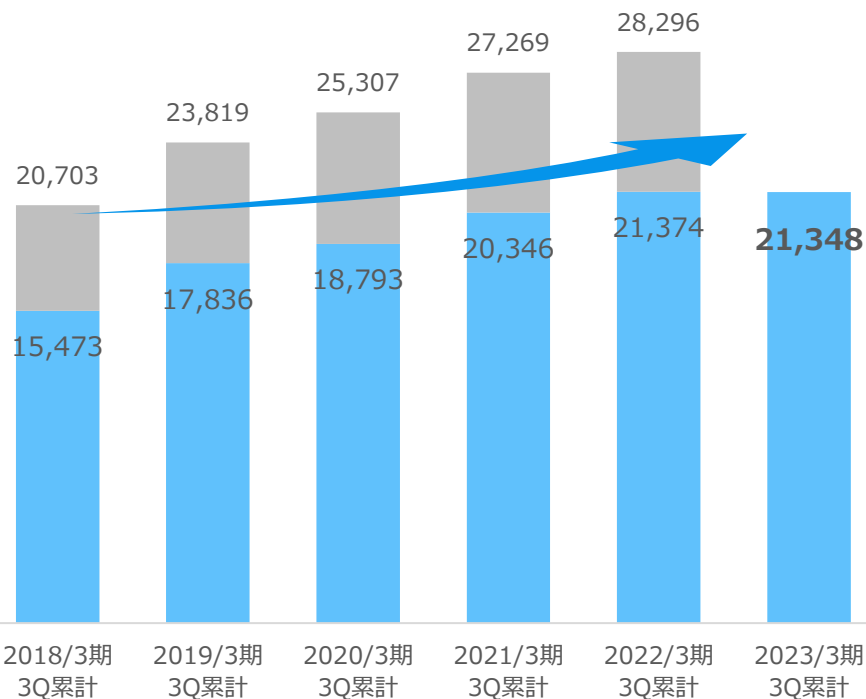


事業KPI：総診療件数、手術件数の推移

- 総診療件数は再診件数の影響を受けて横ばい
- 手術件数は再び増加基調に

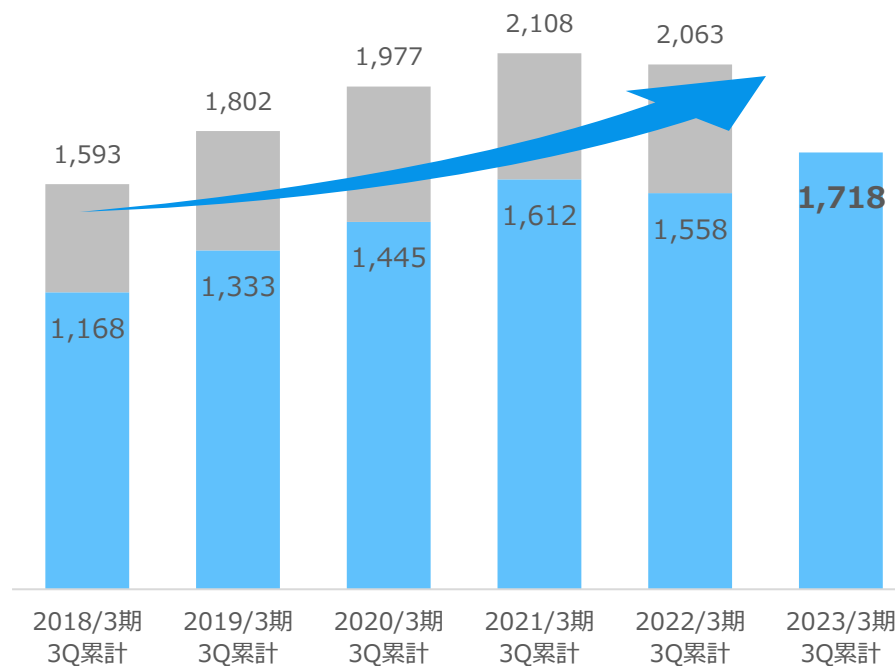
総診療件数の推移

■ 総診療件数（3Q累計） ■ 総診療件数（通期）



手術件数の推移

■ 手術件数（3Q累計） ■ 手術件数（通期）



注：総診療件数は初診と再診の合計数

バランスシート状況

- 2022年12月に実施した第三者割当増資及び利益計上により、財務体質は改善
- 株主資本は前期末比10億93百万円増加し、自己資本比率は44.5%へ上昇
- 有利子負債が減少し、有利子負債依存度は47.1%へ低下

(百万円)	2022/3期	2023/3期3Q	前期末比
流動資産	1,539	2,365	+826
現預金	1,068	1,946	+877
売掛金	228	248	+19
固定資産	5,567	5,731	+163
有形固定資産	4,709	4,899	+190
総資産	7,107	8,097	+989
負債	4,597	4,493	▲103
有利子負債	3,921	3,810	▲111
純資産（株主資本）	2,509	3,603	+1,093
負債純資産合計	7,107	8,097	+989

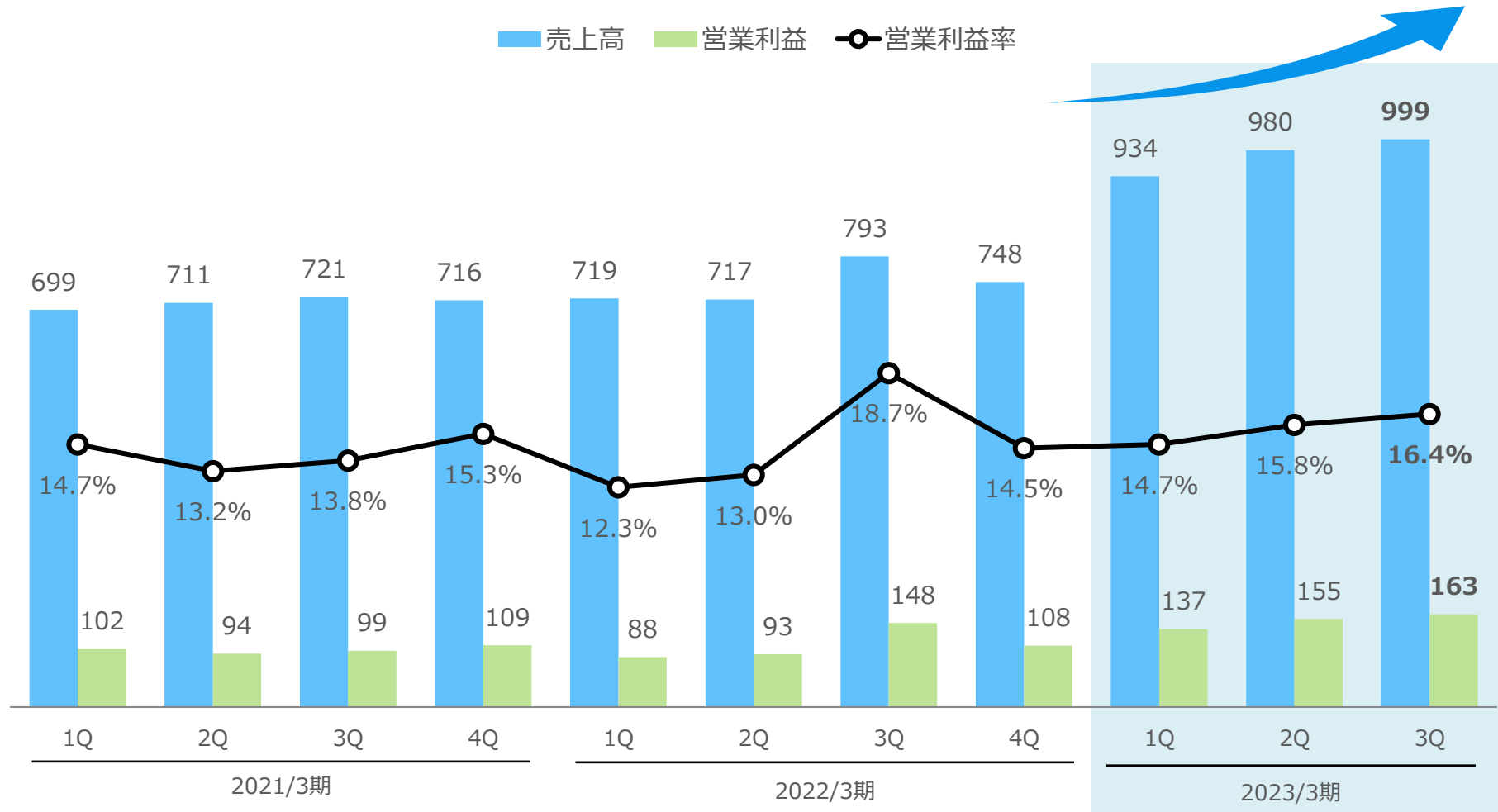
第三者割当増資により
現預金増加

有利子負債依存度は
56.3%から47.1%へ低下

自己資本比率は
36.0%から44.5%へ上昇

(ご参考) 四半期決算 業績推移

- 営業利益率は、2022/3期3Qの一時的な急上昇はあるが、全体的に上昇基調を維持



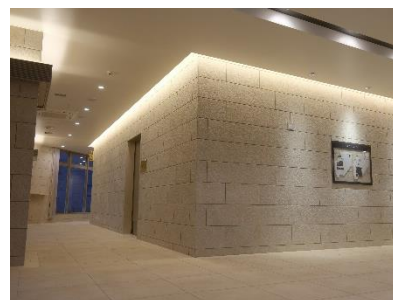
大阪病院：2月に建物は竣工、5月に開院

- 当社4番目の拠点となる大阪病院の建設工事は順調に進捗、2月に竣工予定だが、必要な機器、物品の入手遅延により、開院は5月となる見込み

大阪病院 外観

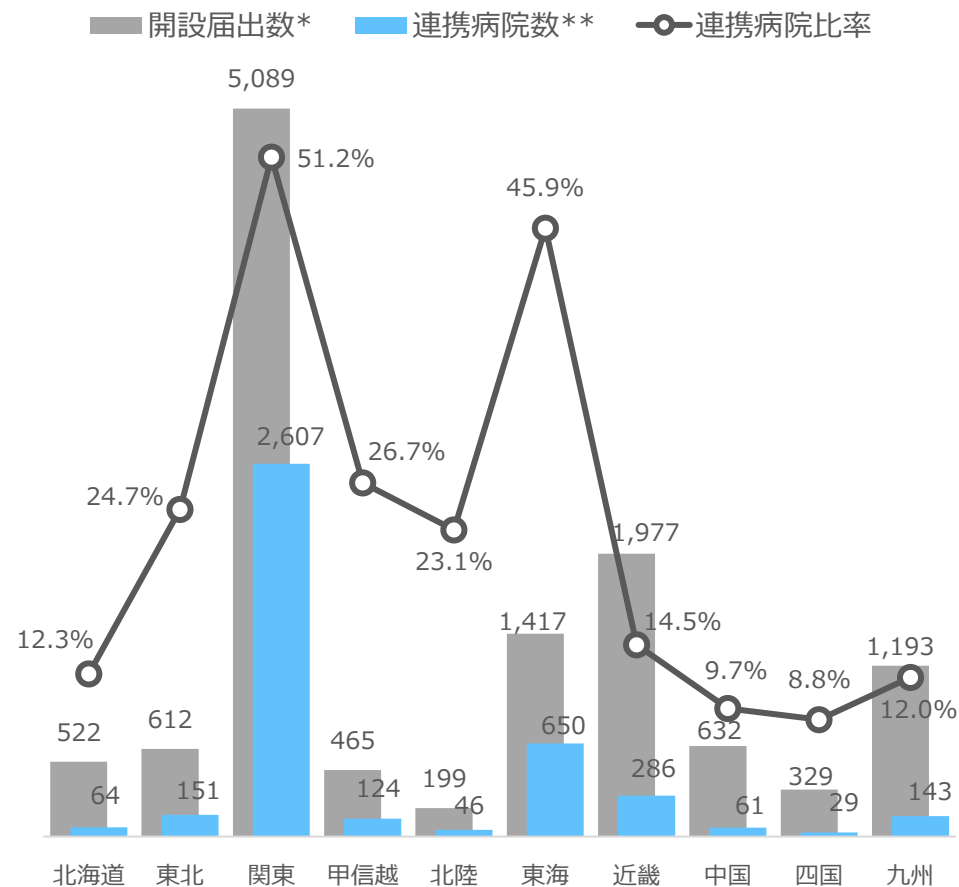


大阪病院 内部



今後の拠点展開

- 大阪病院開業により、関東、東海エリア同様に関西エリアを中心に連携病院比率の引き上げを計画
- 全国主要都市に施設の展開を積極的に推進中

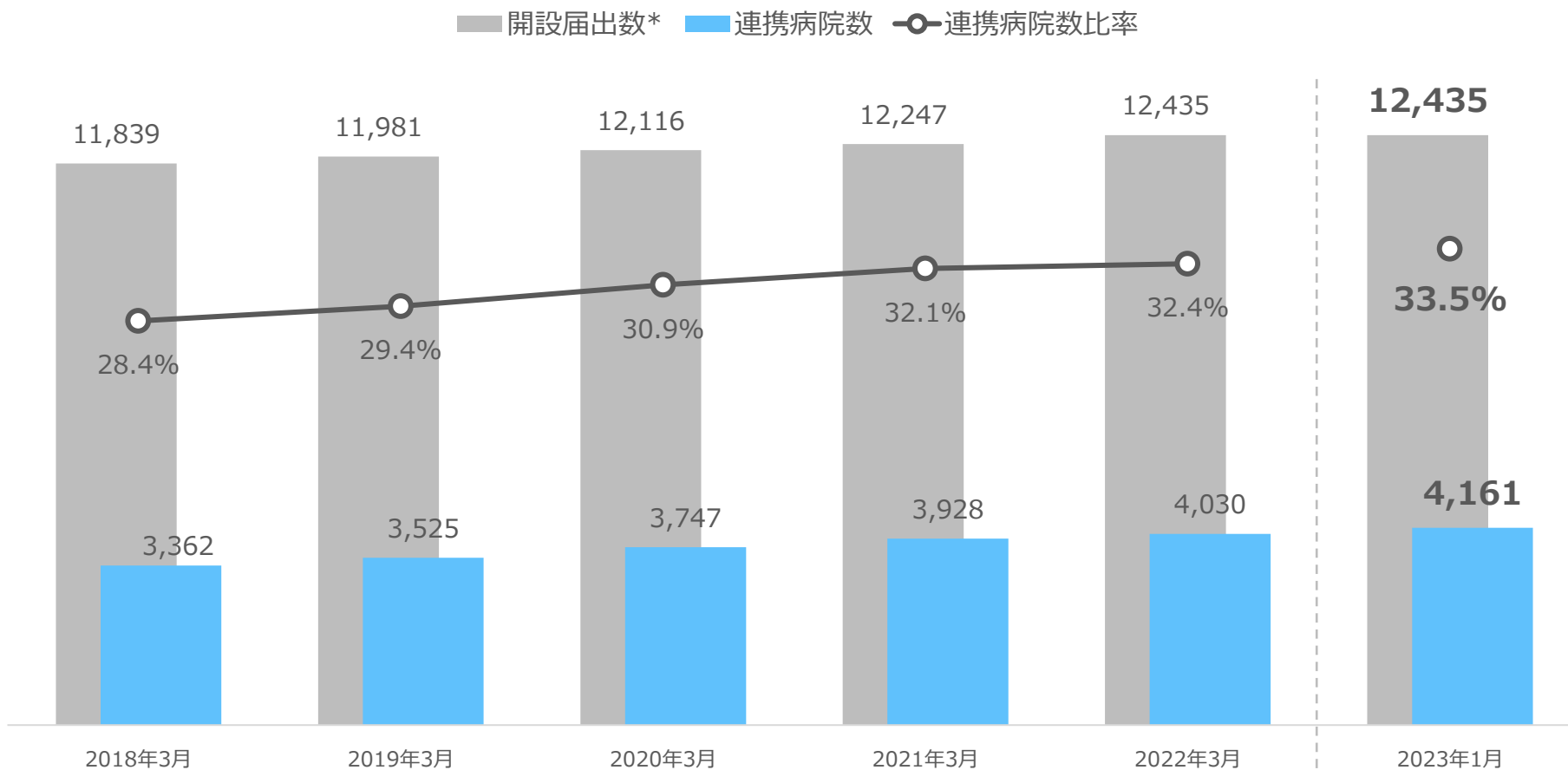


*開設届出数は農林水産省（令和3年12月末時点の小動物診療施設の件数）

**連携病院数は2023年1月末時点の件数

連携病院数は、全国4,161施設に

- 連携病院数は、開設届出数を上回る勢いで年々着実に増加
- 2023年1月末時点で全国4,161施設と連携し、連携病院数比率は33.5%まで上昇



*開設届出数は農林水産省（令和3年12月末時点の小動物診療施設の件数）

2022年12月に実施した第三者割当増資の概要

目的	<ul style="list-style-type: none">動物医療業界の総合的企業の地位を確立し、企業価値の向上を図る短期的な有利子負債依存度を下げ、適切なタイミングで業容拡大のための成長投資を行うことができる財務健全性を強化
発行形態	<ul style="list-style-type: none">当社普通株式の第三者割当新株式発行
決議日	<ul style="list-style-type: none">2022年12月8日
払込日	<ul style="list-style-type: none">2022年12月26日
発行価格	<ul style="list-style-type: none">2,028円 (決議日直前取引日までの1か月間終値平均を採用)
発行株式数	<ul style="list-style-type: none">40万株 (発行前総議決権数に対し17.2%)
調達金額	<ul style="list-style-type: none">811,200,000円 (手取金額773,200,000円)
割当先	<ul style="list-style-type: none">①KCPエクイティアシスト1号投資事業有限責任組合¹ 32万株 (11.75%³)②サンリツサービス² 8万株 (3.12%³)
割当先の保有方針	<ul style="list-style-type: none">①5年を経過するまで企業価値を棄損する相手への売却をしない。売却の場合には相手先の情報を開示。2年以内に譲渡する場合には当社へ報告義務。②長期的な関係維持。2年以内に譲渡する場合には当社へ報告義務

1: 当社創業時より融資など取引関係がある「きらぼし銀行」の親会社。「東京きらぼしフィナンシャルグループ」の中小企業支援ファンド

2: 当社病院の臨床検査の一部を委託している「サンリツセルコバ検査センター」の親会社

3: 増資後の暫定議決権所有割合

* 詳細については、「KCPエクイティアシスト1号投資事業有限責任組合との投資契約の締結、第三者割当による新株式の発行、主要株主である筆頭株主の移動に関するお知らせ」(2022年12月8日 当社リリース) をご覧ください

① 開業準備中の大阪病院における業務領域の拡大 支払予定時期：2023年3月～2024年3月

- 2023年5月より稼働予定の大阪病院（仮称）に新たに放射線治療棟の増築（100百万円）・放射線治療機器の費用（300百万円）
- 放射線治療は、外科手術や化学療法に比べて患者動物への負担が少ない治療法としてニーズが高まっているが、大阪地区では動物の放射線治療を行える施設が限定的

放射線治療棟建設予定地



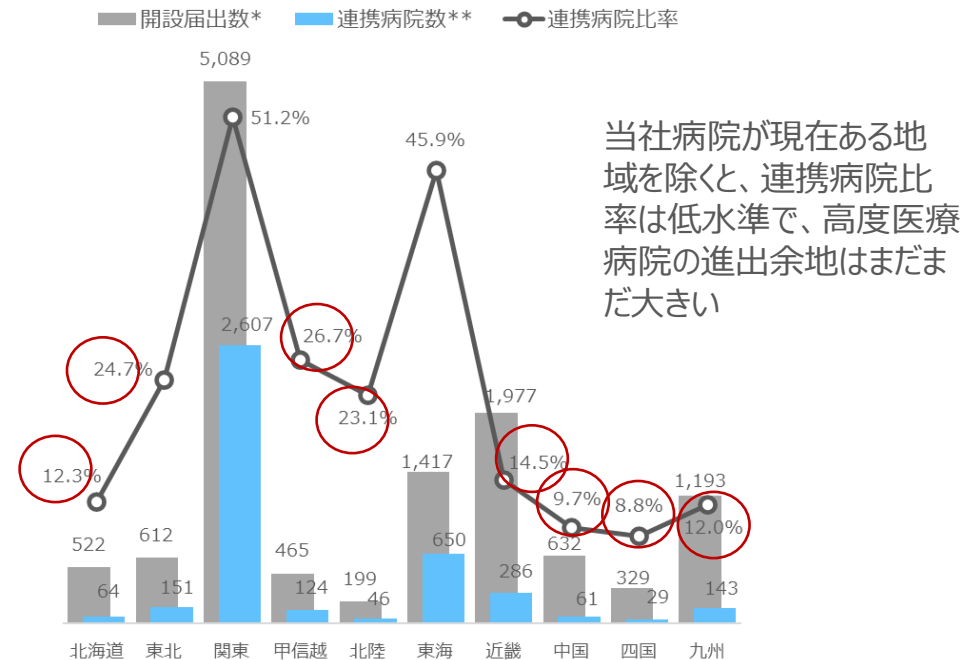
関西圏放射線治療可能施設



② 新病院の土地取得費用

支払予定時期：2023年4月～2024年9月

- 全国的な動物高度医療ニーズの高まりに伴う、迅速な他地域への病院建設のための土地取得費用に充当予定（373百万円）。不足分は自己資金等で賄う予定
- 当社のビジネスモデルは、病院数の増加に伴う売上増が大きく利益に寄与するため、より迅速な新地域への土地取得・新病院設立が企業価値向上に貢献する

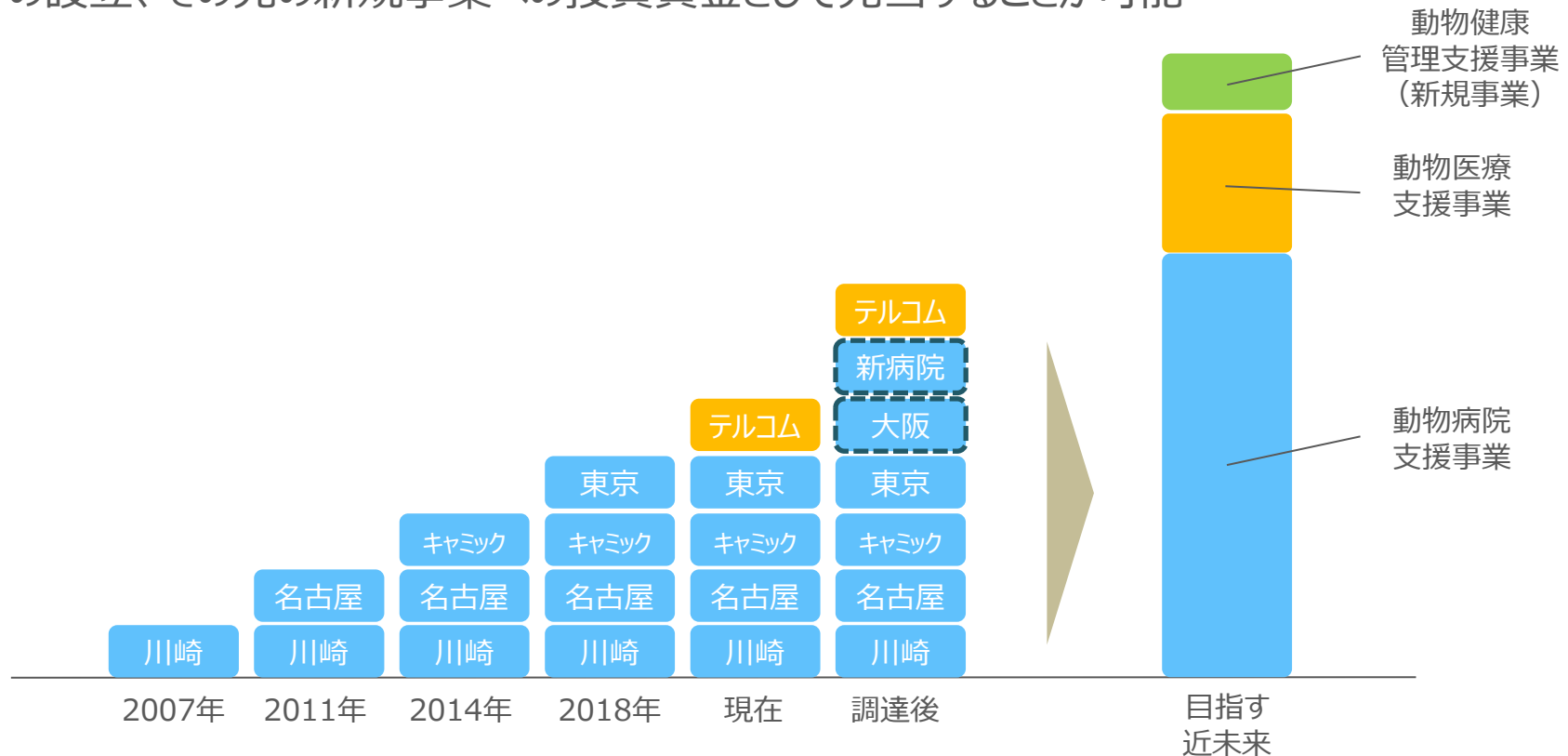


*開設届出数は農林水産省（令和3年12月末時点の小動物診療施設の件数）

**連携病院数は2023年1月末時点の件数

中長期成長プランと12月の資金調達の位置づけ

- 2007年川崎本院より始まった当社の成長ストーリーは、現在までに飼い主様に支えられ、5月の大阪病院まで着実に成長
- 中長期では、二次診療の全国拡大に加え、動物医療に関連する事業買収、動物の健康管理事業に参入し、動物医療業界における総合的企業としての地位を確立
- 今回の資金調達により、財務健全性を確保することで、柔軟に放射線治療施設や新病院の設立、その先の新規事業への投資資金として充当することが可能



＜見通しに関する注意事項＞

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

＜お問い合わせ先＞

株式会社日本動物高度医療センター
管理部 企画課 IR担当
044-850-1320
e-mail : ir@jarmec.jp